



卒業おめでとう!



小学部2年生から中学卒業の8年間、放課後の時間をすてっぷで過ごしたMさん。今年で卒業です。まだクラブに入会する前の1年生だったMさんは、学校迎えに行った「すてっぷ号」の前をお母さんと通るたびに立ち止まり、これからクラブに行く車内のメンバーの方を見ていたそうです。当時のスタッフは「きっと、一緒にクラブに行きたいんだろうな。」とっていました。2年生になりクラブに入会。まだ小さかったMさんは、スタッフと一緒にトランポリンや自転車乗り、おやつ作りをするのが大好きでした。小学部高学年にもなると、メンバーがする遊びをよく見て真似するようになったり、ゲーム遊びに参加できるようになりました。「皆と一緒に」の心地良さや楽しさが感じられるようになったのです。そして中学部。自分で何でもしようとして「1人でできるもん!」と、ちょっぴり大人びた姿をみせてくれるようになりました。嫌な事は「嫌!」とはっきり伝えられるようになり、自己主張することも大きな成長の一歩だと感じさせてくれ、嬉しくさえ思える時間でした。そんな中、ある変化を発見しました。それはメンバーとの関わり。はじけるような笑顔で笑う Rちゃん。Mさんより2つ年下です。クラブの車に乗ると二人で顔を見合わせて「わっははは」と笑っているのです。「今日もクラブで一緒だね!」「うれしいね!」とお話しているようでした。時には顔を近づけて「嬉しいね!」を伝え合う時もありました。「人と関わる事の喜び」を二人は持ち前の満面の笑顔で伝え合っていました。嬉しい!と思える心と心が繋がり合うって、こんなに素敵なんですね。そしてもうひとつ。メンバーの一人に恋をして、ほっぺを押さえて恥ずかしそうにはにかむ姿も見せてくれ、私達スタッフの心を温かくしてくれました。

いよいよMさんのクラブ最後の日。いつもは体育館の中でしかできなかった自転車乗りですが「本当の風を感じて走らせてあげたい」とスタッフ間で話し合い、皆で公園へ行きました。朝からの強風もMさんの卒業を祝うようにピタリと止み、メンバーが一人ずつ順番に乗って、スタッフが走らせます。どの子も嬉しそう!いよいよMさんの番。はやる気持ちを抑えつつも自転車に乗りました。いざ!本当の風を!「じゃいくよ」スタッフの声に「はい」と言ってスタート!この瞬間の笑顔は最高潮。スタッフが後ろから足をつきながらこいでいきます。Mさんは口を大きく開けて空気を吸い込みながら、どんどん風をきって「うわあ〜」という声と共に笑顔で走ります。体育館では味わうことのできない、デコボコや上り坂、下り坂。そして風の臭い。あまりに楽しんでいるので、次の順番を待っているY君に交代できるのかな?と、ちょっと不安になりました。「次のY君に交代お願いできますか?」と聞くと「はい!」と笑顔で返事をし、自ら降りて「どーぞ」と。流石!最年長のお姉さん。クラブ終了時、大好きだったRちゃんが玄関でかけよると、Mさんは目を見ながらRちゃんの頭をなでて笑顔でさようなら。



クラブに入会したてのMさんはスタッフといることで安心して好きな遊びをしていたのが、皆と一緒に過ごすことで、新しい遊びに挑戦できたり、自分でできると自信を持ったり、心の成長を沢山見せてくれました。大好きなお友達もでき、仲間意識を持つ中で譲れる気持ちも芽生え、人と関わることの喜びを感じて成長した姿は、Mさんの笑顔と共に輝いています! Mさんの笑顔の中にあるような「満タンな心」を一人一人に目指して行きたいと思いました。Mさん、最後にとても大切なことを私達スタッフに教えてくれてありがとう!卒業おめでとう!すてっぷスタッフはずっとずっとMさんの応援団(Mさんのお母さんの言葉を借りて言わせて頂きます)です。

すてっぷ 放課後クラブ 本多 厚子